

【エリアの特性】

＜自然＞

寝屋川に讃良川が合流するまち

寝屋川が西側のエリア境界から南側に蛇行して流れ、下流部で讃良川と合流しています。エリアの南側境界部を流れる友呂岐水路沿いは、美しい桜並木となっています。

緑豊かな緑道の整備や密集住宅地の建て替えにより、寝屋川第十水路を活用したからくる親水公園の整備など水辺や緑に親しむ環境づくりを進めています。

＜歴史・文化＞

囲い堤防が築かれた歴史をもつまち

旧木田村は、かつては寝屋川の川床の一部で、領内はかなりの高低差がありました。沼地が多い南方は、高所の土砂を埋めながら耕地をつくり、村の周囲には外からの水を防ぐための囲い堤防を築き、その堤防内に市街地が形成されてきました。

萱島駅の下には萱島神社があり、この神社の貴重な大楠が駅の連続立体交差事業による高架後も残されています。

＜人工・都市＞

市の南の玄関口としての整備をめざすまち

萱島駅の東側に位置し、駅に近い利便性の良いエリアです。エリア東側境界部を通る八尾枚方線や北側境界部を通る（都）梅が丘黒原線沿いは、流通業務施設や工場、大型店舗などが立地し、エリア中央部を太秦萱島線が南北に通っています。この他、市民体育館やからくる親水公園、南コミュニティセンター、中木田中学校、木田、南小学校などがあり、萱島東地区の密集住宅地区では、安心して、活気とうるおいのあるまちにするため、老朽木造建築物の建替え促進や主要生活道路などの基盤整備の推進により、良好な環境の住宅地づくりを進めています。

景観整備の方向

木田の囲い堤防などの歴史を大切にしながら、未来につながる市の南玄関のまち

景観形成の基本目標

景観形成に向けた誘導基本方針

＜自然＞

● エリアの西側から南側を流れる寝屋川や南側を流れる友呂岐水路、エリアの中央部を太秦萱島線と交差しながら流れる寝屋川第十水路などの水際景観を活かしたまち

- 河川、水路を活かす。
 - ・ 寝屋川の河川空間や沿川の道の活用
 - ・ 寝屋川第十水路と太秦萱島線の街路樹が一体となった景観の活用

＜歴史・文化＞

● 木田の囲い堤防や（都）梅が丘黒原線の南側の旧集落地、鉄道駅舎内に残された大楠や萱島神社、かつては物資が運搬された寝屋川などの歴史を感じることができるとまち

- 歴史を感じられるよう演出する。
 - ・ 囲い堤防が築かれた歴史の活用
- 旧集落地、社寺、大楠など歴史的資源の活用
 - ・ 水運路であった寝屋川の歴史を感じることができるとまち

＜人工・都市＞

● 鉄道駅付近の商店街のにぎわいづくりや密集住宅地区の整備などにより、市の南の玄関口として、にぎわいとうるおいのある空間があるまち

- 市の南の玄関口にふさわしい景観を整える。
 - ・ 工場、教育施設、商業施設、住宅地などにおける界限性の演出
 - ・ 密集住宅地区における安心・安全で快適な住環境整備に伴ううるおい空間の創出
 - ・ 市の南の玄関口としてまとまりのある景観の演出

景観資源と特性図



■景観基本単位

名称	<旧集落地>中木田	<旧集落地>下木田
景観整備の目標	○(都)梅が丘黒原線の南側の古いまちを守り育てる。	○京阪寝屋川車庫南側の旧集落地のまちなみを守り育てる。 ・旧集落地内の細い道の両側の古いまちなみと一体となった田園風景を大切にす。
活用する景観資源	○古いまちなみと周辺に残された生産緑地の活用 ○緑道(木田3号線、木田5号線)の緑の活用 ○公園の植栽の緑の活用	○古いまちなみと周辺に残された生産緑地の活用 ○密集住宅地区の整備により創出される快適な住環境とうるおいのある空間の演出と活用 ○寝屋川第十水路や太秦萱島線の街路樹などの水と緑の活用